

目 次 CONTENTS

目次

市長から市民のみなさんへ	2
平成 26 年度予算編成方針	4
「観光懇話会」から 提言書が提出されました	5
受賞おめでとうございます 山陽小野田市表彰 スポーツおよび芸術文化奨励賞 山陽小野田市体育協会表彰	6
「1 か所の給食センター」で 学校給食を調理します	8
市民意見公募制度(パブリックコメント) 寄せられたご意見をご紹介します	9
トピックスさんようおのだ	14
休日窓口サービスを実施します など	
情報ひろば	16
市病院局企業職員採用試験 など	
健康だより	18
さあ、学校へ行こう！ 観光ガイド検定クイズ 病院ニュース	20
まちの電車 小野田線の旅 今月のおすすめ料理	21
こちら消防 119 子育て情報ナビ ごみ出しワンポイント	22
各種相談の日程	23
3 月のカレンダー	裏

サポート寄附 (ふるさと納税)

累計【522 件】**21,217,000 円**
(2 月 24 日現在)

人のうつき

(2 月 1 日現在)

世帯	28,453 世帯	(+1)
人口	64,935 人	(-24)
男	30,607 人	(-5)
女	34,328 人	(-19)

※()内は前月との比較



・・・ パソコン、携帯からご利用できます。



・・・ パソコンからご利用できます。

上記のマークがついているものは

「山陽小野田市 WEB 申請サービス」をご利用できます。

パソコンから ☞ <https://s-kantan.com/sanyo-onoda-u/>

携帯電話から ☞ <https://s-kantan.com/sanyo-onoda-k/>



■発行 / 山陽小野田市

<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/>

〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目 1-1

☎ 82-1111 (代表)

■編集 / 総務課 ☎ 82-1148

ki-kouhou@city.sanyo-onoda.lg.jp

学校給食施設の調理方式を 決定しました

学校給食は、学校給食法に基づき行っていますが、時代の変化とともに、給食施設のあり方も変わってきています。学校給食といえば、かつては自校方式が当然と考えられた時期もありました。その後、複数の学校の給食を一つの学校で調理する親子方式が生まれ、また複数の学校の給食を 1 か所ないし数か所の給食センターで調理するセンター方式など、様々なものが出てきました。最近では学校がまとめて外食産業に委託し、給食時間に届けてもらうデリバリー方式なども誕生しています。本市の給食施設は、小野田地区が親子方式、山陽地区は全て自校方式です。

学校給食には、「食育」と「安全な給食」の実現が求められていますが、教育委員会の説明によると、自校方式、親子方式、そしてセンター方式も「食育」の点では、ほとんど差異はないそうです。しかし、「安全な給食」の点では、本市の現状は、全施設が「ウエット方式※1」で文部科学省の求める「ドライ方式※2」ではないため、床の水はけが悪いなど衛生面に課題があるばかりか、給食施設は全体として老朽化がかなり進んでいて、早期の建て替えが求められていること。にもかかわらず、仮に親子方式に建て替えようとする、建築基準法上の用途地域の制限から、現在地での建て替えはほとんど困難だということです。

もっと肝心な点は、上記のデリバリー方式を